

# 資料編



# 資料1 成果指標の一覧

## 政策目標1 安全で安心して暮らせるまち

指標名	現状値 令和6年度(2024)	目標値 令和12年度(2030)
1 危機管理体制の充実		
発災時の人的被害者数	0人	0人
2 総合治水対策の強化		
河川が溢れる件数	0件	0件
急傾斜地崩壊危険区域指定の総指定箇所数	34 箇所	39 箇所以上
3 災害に強い建築物や公共施設の整備		
市有建築物の耐震化率	94.0%	100%
港湾施設の整備要望の実施箇所数(累計)	8箇所	10 箇所以上
民間住宅の耐震化率	85.1%	88.5%以上
4 生活安全の推進		
市内における刑法犯認知件数(暦年)	241 件	180 件以下
市内における人身交通事故発生件数(暦年)	225 件	160 件以下
5 消防体制の強化(消防団体制の強化・消防水利の充実)		
消防団員充足率〈4月1日時点〉	97.5% (令和7年度・2025)	100%
公務災害件数	3件	0件
夜警の実施率	100%	100%
消防水利充足率	83.6%	89.0%以上

## 政策目標2 誰もが健やかに暮らし活躍できるまち

指標名	現状値 令和6年度(2024)	目標値 令和12年度(2030)
1 地域医療の充実		
地域医療支援病院の継続	承認要件達成 紹介率 74.0% 逆紹介率 104.6%	紹介率及び逆紹介率 の承認要件を満たす
2 健康づくり支援		
健康寿命(お達者年齢)	男性 78.8 年 女性 84.2 年 (令和4年度・2022)	男性 80.3 年以上 女性 84.6 年以上 (令和9年度・2027)
健康意識(各種健康診査及び検診受診者延べ人数)	33,605 人	34,000 人以上

<b>3 出産・子育て支援の充実</b>		
子育てを楽しいと思う親の割合 (乳幼児健康診査アンケート)	94.2%	95.0%以上
「出産・子育て支援の充実」に満足している 市民の割合(市民満足度調査)	58.5%	70.0%以上
<b>4 保育及び幼児教育の充実</b>		
待機児童数〈4月1日時点〉	0人 (令和7年度・2025)	0人
園での保育に満足している保護者の割合 (保育園保護者アンケート・幼稚園評価アンケート)	98%	100%
多様なニーズに対応した保育への満足度 (保育園保護者アンケート)	77%	92%以上
<b>5 高齢者福祉の充実</b>		
元気な高齢者の割合〈4月1日時点〉 (介護保険第1号被保険者のうち、要介護・ 要支援認定を受けていない高齢者の割合)	82.3%	81.0%以上
健康寿命(お達者年齢)	男性 78.8 年 女性 84.2 年 (令和4年度・2022)	男性 80.3 年以上 女性 84.6 年以上 (令和9年度・2027)
生活支援サポーターによる支援件数	600 件 (単年)	3,000 件以上 (5年間累計)
<b>6 障がい者福祉の充実</b>		
相談支援事業所の相談件数	9,127 件	9,500 件以上
障がい福祉サービス支給決定者数(実数)	720 人	750 人以上
市内企業の障がい者雇用率(年度末数値)	2.29%	法定雇用率以上
障がい福祉サービス利用後の一般就労者数	6人	7人以上
<b>7 地域福祉の充実</b>		
「地域内の助け合いなどの地域福祉の充実」に 満足している市民の割合(市民満足度調査)	63.9%	65.0%以上
ボランティアセンターによるボランティア活動あ っ旋件数	10 件	60 件以上
<b>8 多様性のある社会の実現</b>		
「お互いの個性と多様性を認め合う社会の実現」 に満足している市民の割合(市民満足度調査)	60.8%	65.0%以上
<b>9 保険・年金制度の運営</b>		
制度理解の醸成等を図るための広報による周知	34 回	34 回以上
公平な負担に対する意識向上の取組や適正な サービス受給のための相談会の実施	54 回	54 回以上

**政策目標3** 良好な環境が広がり快適に暮らせるまち

指標名	現状値 令和6年度(2024)	目標値 令和12年度(2030)	
<b>1 自然との共生社会の推進</b>			
公害の迷惑行為に寄せられる苦情件数	12件	6件以下	
愛護動物の迷惑行為に寄せられる苦情件数	49件	6件以下	
伊東市森林整備計画に基づき間伐を行った森林面積	累計 31.7ha	累計 71.6ha 以上	
<b>2 循環型社会の推進</b>			
可燃ごみの排出量	27,372t	25,638t以下	
リサイクル率(総資源化量/総ごみ量)	17.69%	20.00%以上	
<b>3 生活排水対策の充実</b>			
環境基準 (河川BOD・海域COD)	八代田橋	BOD 0.7mg/l	BOD 2mg/l 以下
	渚橋	BOD 0.7mg/l	BOD 2mg/l 以下
	伊東港中央	COD 1.3mg/l	COD 2mg/l 以下
<b>4 安全でおいしい水の安定供給</b>			
「安全でおいしい水の安定供給」に満足している市民の割合(市民満足度調査)	84.4%	90.0%以上	
<b>5 魅力的な都市空間の創造</b>			
「海岸・高原・住宅地及び市街地の街並みなどの良好な景観の形成」に満足している市民の割合(市民満足度調査)	59.2%	65.0%以上	
土地の使い方について「全体として調和が取れており、良い状態である」と回答した市民の割合(市民満足度調査)	27.0%	42.0%以上	
<b>6 公共交通体系の充実</b>			
「バス・鉄道などの公共交通対策の充実」に満足している市民の割合(市民満足度調査)	25.8%	42.0%以上	
鉄道、路線バス、デマンド交通、タクシーの年間利用者数(伊東市内乗降のみ)	5,427千人	現状維持 (推計人口比 4,958千人)	
<b>7 道路環境の整備</b>			
道路 <sup>かし</sup> 瑕疵による事故発生件数	3件	0件	
幹線市道の整備率	96.2%	98.5%以上	

**政策目標 4** 心豊かな人を育み生涯にわたって学習できるまち

指標名	現状値 令和6年度(2024)	目標値 令和12年度(2030)
<b>1 教育環境の整備</b>		
児童生徒1人当たりの教育用コンピュータ数	1.14 台	1台以上
長寿命化計画に基づく具体的な改修計画の策定・改修の実施	未策定 (令和7年度・2025)	改修計画に基づく改修の実施
異物混入、アレルギー、食中毒等、給食を原因として人体に影響を及ぼす事故の発生件数	0件	0件
<b>2 未来を創る教育の充実(小・中学校)</b>		
学校が楽しいと思う子どもの割合【小学校】 (学校生活アンケート)	88.1%	88.6%以上
学校が楽しいと思う子どもの割合【中学校】 (学校生活アンケート)	90.5%	90.5%以上
<b>3 生涯学習活動の推進</b>		
「生涯学習活動の推進」に満足している市民の割合(市民満足度調査)	61.3%	70.0%以上
市民一人当たりの図書貸出冊数	1.89 冊	2.69 冊以上
<b>4 青少年の健全な育成</b>		
小・中・高生一人当たりの地域学校協働活動への参加回数	0.82 回	1.16 回以上
<b>5 市民スポーツ活動の推進</b>		
「市民スポーツ活動の支援」に満足している市民の割合(市民満足度調査)	70.4%	80.0%以上
<b>6 歴史・芸術文化の振興</b>		
「芸術・文化に触れる機会の充実」に満足している市民の割合(市民満足度調査)	62.2%	70.0%以上
「史跡・郷土芸能の保存」に満足している市民の割合(市民満足度調査)	75.4%	80.0%以上
<b>7 郷土愛の醸成</b>		
伊東市に将来戻ってきたいと思う高校生の割合(高校生アンケート)	63.2%	68.0%以上
郷土に誇りと愛着を持っている高校生の割合(高校生アンケート)	87.9%	90.0%以上

**政策目標 5** 活力にあふれ交流でにぎわうまち

指標名	現状値 令和6年度(2024)	目標値 令和12年度(2030)
<b>1 地域資源の魅力向上</b>		
年間来遊客数	632万人	740万人以上
観光客の満足度(伊東市観光消費動向等調査)	76.9%	95.0%以上
<b>2 新たな観光形態の構築・推進</b>		
伊豆・伊東観光ガイドのPV数	4,895,000 アクセス	6,000,000 アクセス以上
伊東での滞在日数(2泊以上の割合) ※伊東市観光消費動向等調査	21.1%	30.0%以上
<b>3 広域連携による誘客の拡充</b>		
伊豆半島7市8町の観光交流客数	39,003,247人	50,000,000人以上
伊豆半島7市8町内で連泊(2泊以上)した人の割合※美しい伊豆創造センター「観光アンケート調査」	26.3%	30.0%以上
<b>4 商工業の振興</b>		
平均就職率	32.3%	35%以上
平均充足率	10.2%	15%以上
新規創業件数	19件	16件以上
<b>5 農林業の振興</b>		
担い手農業者数(年度末の総数)	79人	91人以上
担い手への農地利用集積面積	105.1ha	118.3ha以上
<b>6 水産業の振興</b>		
水揚数量	3,452t	3,600t以上
<b>7 移住定住の促進・関係人口の拡大</b>		
移住者数(静岡県調査)	130人	230人以上
転入超過数	214人	300人以上
移住相談件数	431件	550件以上
<b>8 国際交流の推進・都市交流の促進</b>		
「国際交流機会の充実」に満足している市民の割合(市民満足度調査)	60.3%	70.0%以上
日本語教室受講者数(延べ人数)	1,531人	1,750人以上
国内姉妹(友好)都市交流事業の実施回数	6回	6回以上

**構想の推進** 総合計画を推進するための土台づくり

指標名	現状値 令和6年度(2024)	目標値 令和12年度(2030)
<b>1 全員参加によるまちづくりの推進</b>		
「市民活動などの地域活動の推進」に満足している市民の割合(市民満足度調査)	61.2%	71.0%以上
「市民の声をうかがう機会の充実」に満足している市民の割合(市民満足度調査)	47.3%	56.0%以上
<b>2 市民の信頼に応える行政運営</b>		
「市民に対する市職員の対応」に満足している市民の割合(市民満足度調査)	66.3%	73.0%以上
<b>3 健全かつ持続可能な財政運営</b>		
全ての会計の地方債残高(臨時財政対策債を除く)	273 億円	230 億円以下
「市の財政の健全な運営」に満足している市民の割合(市民満足度調査)	52.8%	55.0%以上

## 資料2 第五次伊東市総合計画・第十二次基本計画策定経過

年月日	内 容
<b>令和6年</b>	
6月	<p>■「未来ビジョン会議」（市民討議会）実施</p> <p>〈実施日〉6/24、7/30、8/21、9/26、10/29、11/21、12/9、12/17、1/8、1/21、2/13、2/14</p> <p>〈参加者〉18人（伊豆伊東高校生5人を含む）、キックオフ（6/24）</p> <p>〈説明〉「第五次伊東市総合計画について及び現行計画の進捗状況について」（7/30）</p> <p>〈講演〉「地域の特性を生かした地域づくりについて」（8/21）</p> <p>〈意見交換〉本市若手職員で構成された長期ビジョン策定委員との意見交換会（10/29）</p> <p>〈グループワーク〉</p> <p>「伊東市の今について考える」（9/26）</p> <p>「伊東市の将来像を描き、将来像実現の手法を考える」（11/21、12/9）</p> <p>「地域・社会のビジョン、対象者・顧客の理想的な未来を実現するための解決策を考える」（12/17、1/8）</p> <p>「プレゼンテーション」（1/21）</p> <p>市長との意見交換会（2/13、2/14）</p>
8月	<p>■「市民満足度調査」実施</p> <p>〈期 間〉8/26～9/24</p> <p>〈対 象〉市内在住の18歳以上の男女2,000人を無作為抽出</p> <p>〈回 答〉回答数795人（39.8%）</p>
11月	<p>■「市内中学生・高校生アンケート」実施</p> <p>〈期 間〉11月～12月</p> <p>〈対 象〉市内中学3年生・高校2年生 在校生数632人</p> <p>〈回 答〉回答数544人（86.1%）</p>
<b>令和7年</b>	
3月25日	<p>■調整会議1回目</p> <p>〈議 題〉</p> <p>第五次伊東市総合計画・第十二次基本計画策定方針（案）について</p> <p>伊東市人口ビジョン策定方針（案）について</p> <p>伊東市総合戦略策定方針（案）について</p> <p>今後のスケジュール</p>
4月25日	<p>■ワーキンググループ会議</p> <p>〈議 題〉</p> <p>第十二次基本計画の策定について（策定方針・策定スケジュール、作業内容）</p> <p>第3期伊東市人口ビジョン・総合戦略の策定について（策定方針・策定スケジュール、作業内容）</p> <p>今後のスケジュール</p>
6月6日	<p>■企画会議</p> <p>〈議 題〉</p> <p>第五次伊東市総合計画・第十二次基本計画（案）について</p> <p>第3期伊東市総合戦略（案）について</p> <p>今後のスケジュールについて</p>

年月日	内 容
6月17日	<p>■調整会議2回目            〈議 題〉            第五次伊東市総合計画・第十二次基本計画（案）について            第3期伊東市総合戦略（案）について            今後のスケジュールについて</p>
7月9日	<p>■調整会議3回目            〈議 題〉            第五次伊東市総合計画・第十二次基本計画最終案について（報告）            第3期伊東市総合戦略最終案について（報告）            人口ビジョン（案）について            その他</p>
8月13日	<p>■調整会議4回目（書面開催）            〈議 題〉            第3期伊東市人口ビジョン・総合戦略（最終案）における再検討事項</p>
8月27日	<p>●総合計画審議会1回目            〈議 題〉            委嘱状交付            伊東市総合計画審議会会長、副会長の互選について            第五次伊東市総合計画・第十二次基本計画（諮問案）            第3期伊東市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略（諮問案）について</p>
11月6日	<p>●総合計画審議会2回目            〈議 題〉            第五次伊東市総合計画・第十二次基本計画（案）のうち、「構想の推進」の部分            第3期伊東市人口ビジョン・総合戦略（案）</p>
11月7日	<p>●第4専門部会            〈議 題〉            第五次伊東市総合計画・第十二次基本計画（案）のうち、以下の部分            政策目標5「活力にあふれ交流でにぎわうまち」（施策1～8）</p>
11月11日	<p>●第3専門部会            〈議 題〉            第五次伊東市総合計画・第十二次基本計画（案）のうち、以下の部分            政策目標4「心豊かな人を育み生涯にわたって学習できるまち」（施策1～7）</p>
11月11日	<p>●第2専門部会            〈議 題〉            第五次伊東市総合計画・第十二次基本計画（案）のうち、以下の部分            政策目標2「誰もが健やかに暮らし活躍できるまち」（施策1～9）</p>
11月12日	<p>●第1専門部会            〈議 題〉            第五次伊東市総合計画・第十二次基本計画（案）のうち、以下の部分            政策目標1「安全で安心して暮らせるまち」（施策1～5）            政策目標3「良好な環境が広がり快適に暮らせるまち」（施策1～7）</p>
12月4日	<p>●総合計画審議会3回目            〈議 題〉            第五次伊東市総合計画・第十二次基本計画の答申（案）について            第3期伊東市人口ビジョン・総合戦略の答申（案）について</p>
12月22日 ～23日	<p>■市議会常任委員会協議会（総務・観光建設・福祉文教）            基本計画案の報告・意見聴取</p>

※ 審議会は、3回の全体会と各1回の専門部会で延べ7回の会議を開催した。

## 資料3 策定体制

### ■第五次伊東市総合計画・第十二次基本計画策定

#### 伊東市総合計画審議会 専門部会名簿

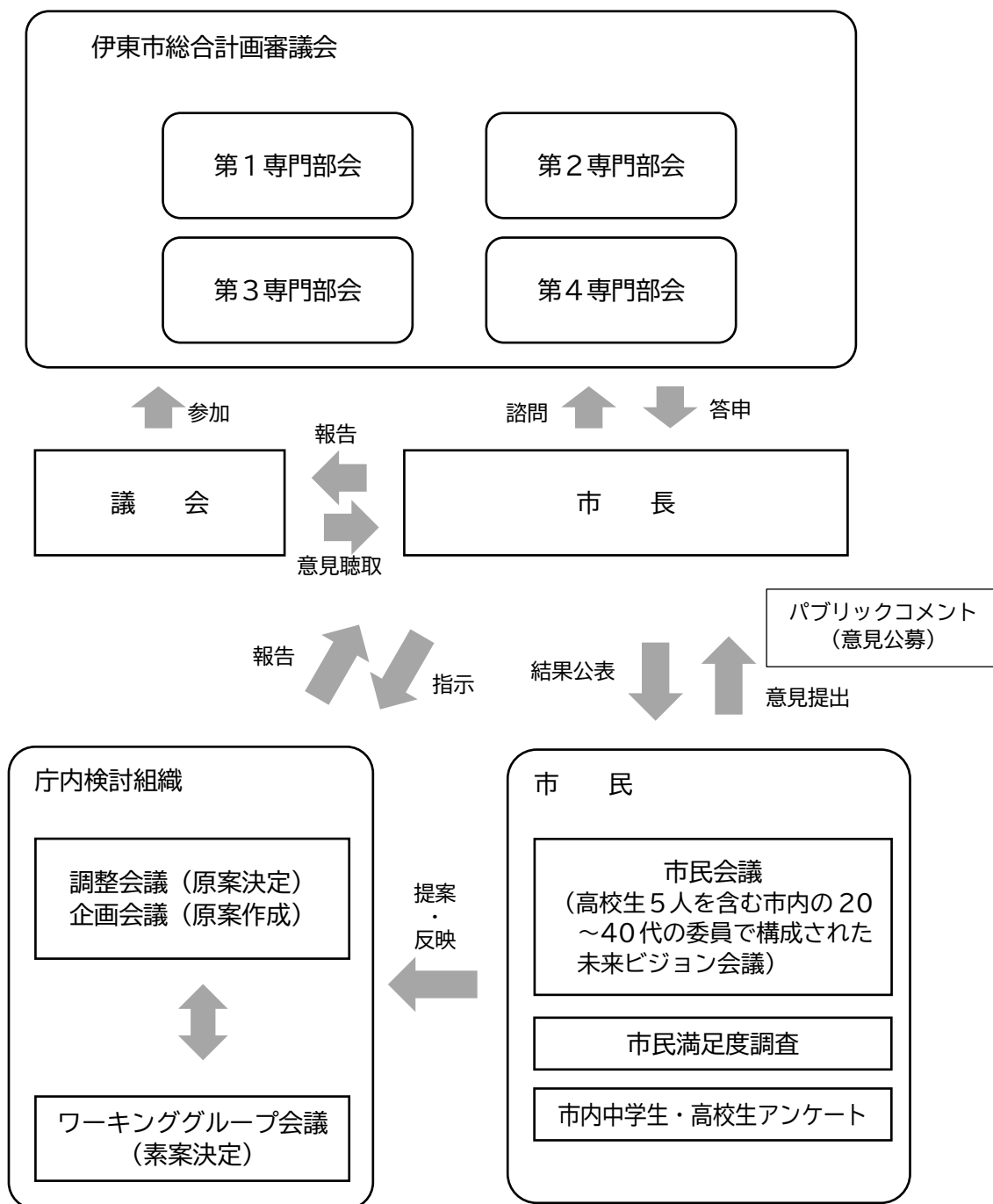
令和7年12月4日現在

会 長 稲葉 和正 (伊東市社会福祉協議会 常務理事)  
副 会 長 長田 直己 (伊東市農業委員会 会長)

(部会長：◎、副会長：○、部会長・副部会長以外は50音順 敬称略)

部会名	団体名	役職名	氏名
第1専門部会 政策目標1 「安全で安心して暮らせるまち」 政策目標3 「良好な環境が広がり快適に暮らせるまち」	伊東建設関連業者連絡協議会	副会長	◎ 塩谷 安朗
	伊東市議会	議員	○ 井戸 清司
	東日本旅客鉄道㈱横浜支社営業部	伊東駅長	石黒 功
	静岡県東部地域局	次長兼地域課長	大畑 英樹
	伊豆急行株式会社	取締役事業推進部長	木田川 雅弘
	株式会社東海バス	伊東営業所所長	鈴木 一功
第2専門部会 政策目標2 「誰もが健やかに暮らし活躍できるまち」	伊東市地域行政連絡調整協議会	会長	◎ 石井 照市
	伊東市議会	議員	○ 青木 敬博
	伊東市社会福祉協議会	常務理事	稲葉 和正
	伊東市民生委員児童委員協議会	会長	竹田 裕愿
	伊東市女性連盟	理事長	森 知子
	山本哲正司法書士事務所	司法書士	山本 哲正
第3専門部会 政策目標4 「心豊かな人を育み生涯にわたって学習できるまち」	一般社団法人 伊東市スポーツ協会	会長	◎ 濱田 修一郎
	伊東市議会	議員	○ 鈴木 絢子
	伊東市校長会	会長	関野 耕一
	株式会社伊豆新聞本社	代表取締役社長	竹川 裕之
	伊東市 PTA 連絡協議会	理事	田畑 まどか
	伊東市教育委員会	教育長職務代理者	遠山 泰範
第4専門部会 政策目標5 「活力にあふれ交流でにぎわうまち」	一般社団法人 伊東観光協会	専務理事	◎ 村田 充康
	伊東市議会	議員	○ 竹本 力哉
	三島信用金庫 伊東営業部	部長	池田 真幸
	伊東商工会議所	専務理事	石井 裕介
	三島公共職業安定所伊東出張所	所長	石橋 正英
	伊東市農業委員会	会長	長田 直己
	富士伊豆農業協同組合	副地区本部長	西野 由季也
	いとう漁業協同組合	代表理事専務	日吉 直人

■策定体制図



## 資料4 諮問・答申

伊企第149号

令和7年8月27日

伊東市総合計画審議会会長 様

伊東市長 田久保 眞紀

第五次伊東市総合計画・第十二次基本計画（案）、第3期伊東市人口ビジョン・総合戦略（案）について（諮問）

本市における総合的かつ計画的な行政運営を図るため、まちづくりの具体的な方向性を示す第五次伊東市総合計画・第十二次基本計画（案）、第3期伊東市人口ビジョン・総合戦略（案）を策定したので、伊東市総合計画審議会条例（昭和44年伊東市条例第52号）第2条の規定に基づき諮問します。

以上

伊 総 審 第 5 号

令和7年12月11日

伊東市長 職務代理者

伊東市企画部長 近持 剛史 様

伊東市総合計画審議会

会 長 稲 葉 和 正

第五次伊東市総合計画・第十二次基本計画、第3期伊東市人口ビジョン  
総合戦略について（答申）

令和7年8月27日付け伊企第149号をもって諮問のあった第五次伊東市総合計画・第十二次基本計画、第3期伊東市人口ビジョン・総合戦略については、慎重に審議した結果、次のとおり本審議会の意見を決定したので答申します。

なお、第五次伊東市総合計画・第十二次基本計画、第3期伊東市人口ビジョン・総合戦略は、今後の伊東市のまちづくりを進める上で、極めて重要な役割を担うものです。

めまぐるしく変化する社会経済情勢の中での行政運営ではありますが、市民との協働により、まちづくりの目標である「私たちが創り、育む 自然と共生し 安心と活力にあふれるまち いたう」を実現するとともに、人口減少社会に対応し、将来にわたって活力ある伊東市を維持することを目指すため、本審議会の審議経過と答申を十分尊重し、全力を傾注されることを要望します。

#### 記

#### 1 第五次伊東市総合計画・第十二次基本計画、第3期伊東市人口ビジョン・総合戦略

第五次伊東市総合計画・第十二次基本計画、第3期伊東市人口ビジョン・総合戦略については、諮問案の一部を、別紙1「修正意見」のとおり修正し、他は諮

問案のとおり決定する。

なお、別紙2のとおり意見を付すものとする。

## 2 審議会の審議状況

### (1) 令和7年8月27日 第1回審議会

第五次伊東市総合計画・第十二次基本計画（諮問案）

第3期伊東市人口ビジョン・総合戦略（諮問案）諮問・説明

基本計画の審議を専門部会に付託

### (2) 令和7年11月6日 第2回審議会

諮問案審議

### (3) 令和7年11月7日～11月12日 各専門部会審議

・第1専門部会 11月12日

・第2専門部会 11月11日

・第3専門部会 11月11日

・第4専門部会 11月 7日

### (4) 令和7年12月4日 第3回審議会

各専門部会審査報告、答申決定

## 3 審議を行った委員

会 長 稲 葉 和 正

副 会 長 長 田 直 己

### 第1専門部会

部会長 塩 谷 安 朗

副部会長 井 戸 清 司

委 員 大 畑 英 樹

同 木 田 川 雅 弘

同 石 黒 功  
同 鈴 木 一 功

#### 第2 専門部会

部会長 石 井 照 市  
副部会長 青 木 敬 博  
委 員 竹 田 裕 愿  
同 稲 葉 和 正  
同 森 知 子  
同 山 本 哲 正

#### 第3 専門部会

部会長 濱 田 修一郎  
副部会長 鈴 木 絢 子  
委 員 遠 山 泰 範  
同 田 畑 まどか  
同 関 野 耕 一  
同 竹 川 裕 之

#### 第4 専門部会

部会長 村 田 充 康  
副部会長 竹 本 力 哉  
委 員 石 井 裕 介  
同 池 田 真 幸  
同 長 田 直 己  
同 西 野 由 季 也  
同 石 橋 正 英  
同 日 吉 直 人

以 上

## 資料5 市民意向調査の結果概要

### ① 市民満足度調査

「第五次伊東市総合計画」に基づき実施している取組等について、市民の意見や評価を把握し、今後の市政運営及びまちづくりに活かすことを目的として実施しました。

#### ■実施概要

- 調査対象 18歳以上の市民の中から2,000人を層化無作為抽出
- 調査期間 令和6年(2023年)8月26日(月)から9月24日(火)まで
- 調査方法 調査票を郵送により配布し、同封した返信用封筒(料金受取人払)により回収  
WEB回答ができるQRコードを調査票の表紙に記載し、WEBによる回答
- 回収状況 **回収数** 795票(うちWEB回答・321票) **回収率** 39.8%

#### ■回答者の属性

##### ○性別

全体	男性	女性	回答しない	無回答
795	341	420	21	13
100.0%	42.9%	52.8%	2.6%	1.6%

##### ○年齢

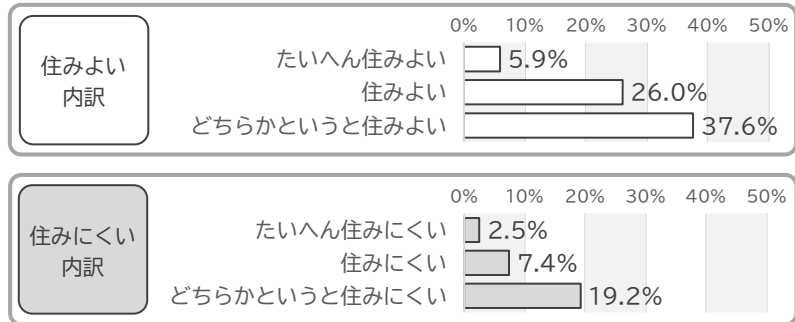
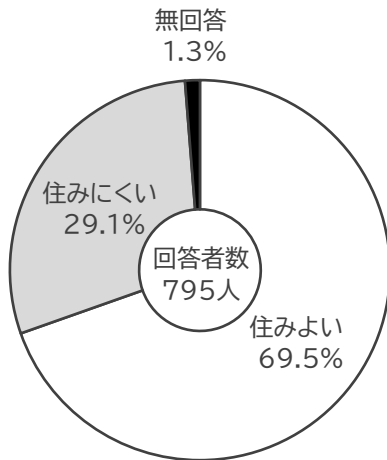
全体	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答
795	14	44	88	136	191	209	111	2
100.0%	1.8%	5.5%	11.1%	17.1%	24.0%	26.3%	14.0%	0.3%

##### ○居住区

全体	宇佐美	湯川	松原	玖須美	新井	岡	鎌田	川奈
795	111	16	26	76	4	79	39	84
100.0%	14.0%	2.0%	3.3%	9.6%	0.5%	9.9%	4.9%	10.6%
	吉田	荻	十足	富戸	八幡野	池	赤沢	無回答
	59	76	22	77	91	22	7	6
	7.4%	9.6%	2.8%	9.7%	11.4%	2.8%	0.9%	0.8%

## ■調査結果の抜粋

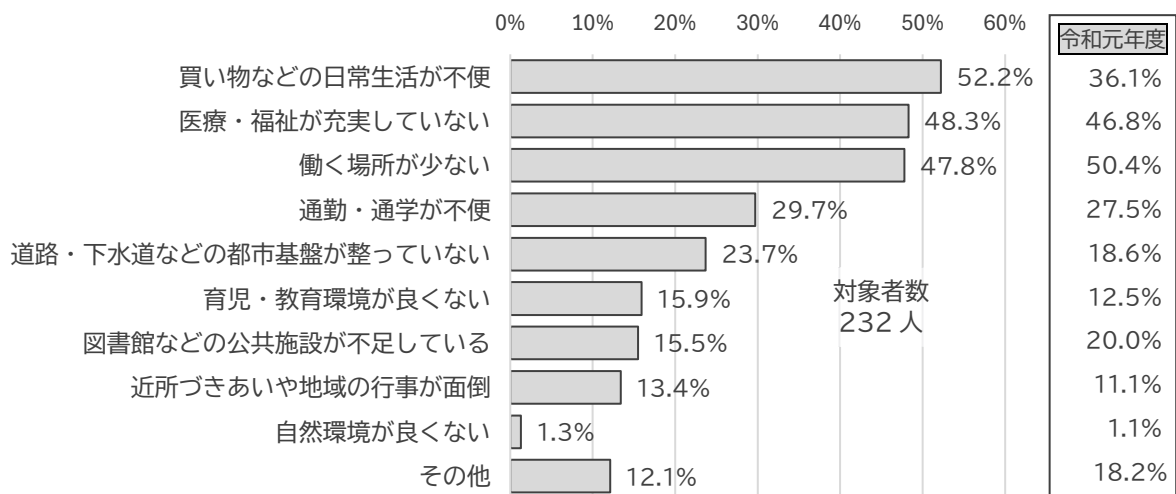
### Q 伊東市は住みよいまちですか



「伊東市の住みよさ」について、肯定的な意見が約7割と否定的な意見を上回っています。

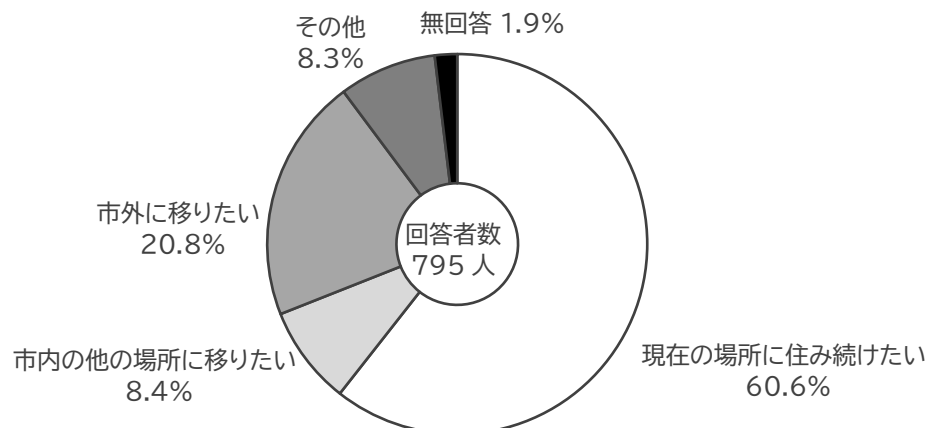
※端数処理の関係上、割合の合計が100%にならない場合があります。

### Q 伊東市が住みにくいと考える主な理由（上記で「住みにくい」と回答した人のみ）



住みにくい理由としては、働く場所、医療・福祉に関する項目が高い割合となっています。

### Q 今後の伊東市への居留意向



伊東市内に住み続けたい人が約7割となり、市外への転居希望者は約2割となっています。

Q 伊東市が行っている取組の重要度（上位5つ）

順位	内 容	重要度
1	総合治水対策の強化（水害や土砂災害対策等）	99.5%
2	危機管理体制の充実（自然災害等からの危機管理体制）	99.0%
3	市の財政の健全な運営	98.6%
4	消防・救急体制の強化	98.3%
5	生活安全の推進	98.2%

※重要度は、重要、やや重要と評価した人の割合

総合治水対策の強化、危機管理体制の充実など、安全で安心して暮らせるまちが求められるとともに、行政財政の健全な運営が重要視されています。

## ② 中高生アンケート

「第五次伊東市総合計画」に基づき実施している取組等について、将来を担う若年層の意見を把握し、今後の市政運営及びまちづくりに活かすことを目的として実施しました。

### ■実施概要

- 調査対象 市内中学に在学する3年生  
伊豆伊東高等学校に在学する2年生  
静岡県東部特別支援学校伊豆高原分校に在学する2年生 計 632人
- 調査期間 令和6年（2024年）11月から12月まで
- 調査方法 調査を学校に依頼し、紙による回答又はWEBによる回答
- 回収状況 回収数 544部 回収率 86.1%

### ■回答者の属性

#### ○性別

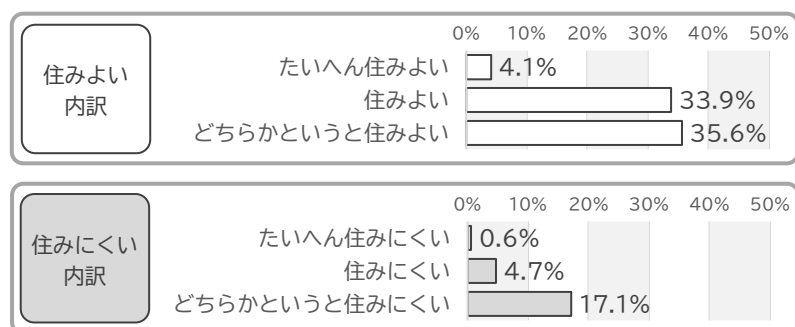
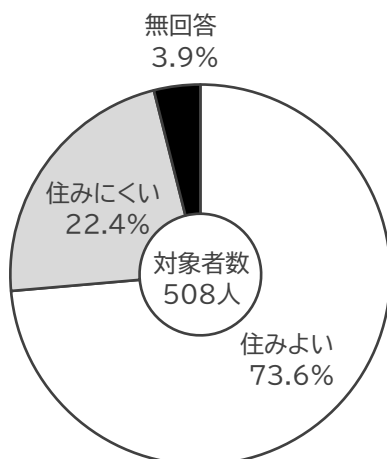
全体	男性	女性	回答しない	無回答
544	256	271	17	256
100.0%	47.1%	49.8%	3.1%	47.1%

#### ○居住区

全体	宇佐美	湯川	松原	玖須美	新井	岡	鎌田	川奈	吉田
544	55	14	14	83	2	49	21	59	26
100.0%	10.1%	2.6%	2.6%	15.3%	0.4%	9.0%	3.9%	10.8%	4.8%
	荻	十足	富戸	八幡野	池	赤沢	市外	その他	無回答
	64	11	40	65	5	0	36	0	0
	11.8%	2.0%	7.4%	11.9%	0.9%	0.0%	6.6%	0.0%	0.0%

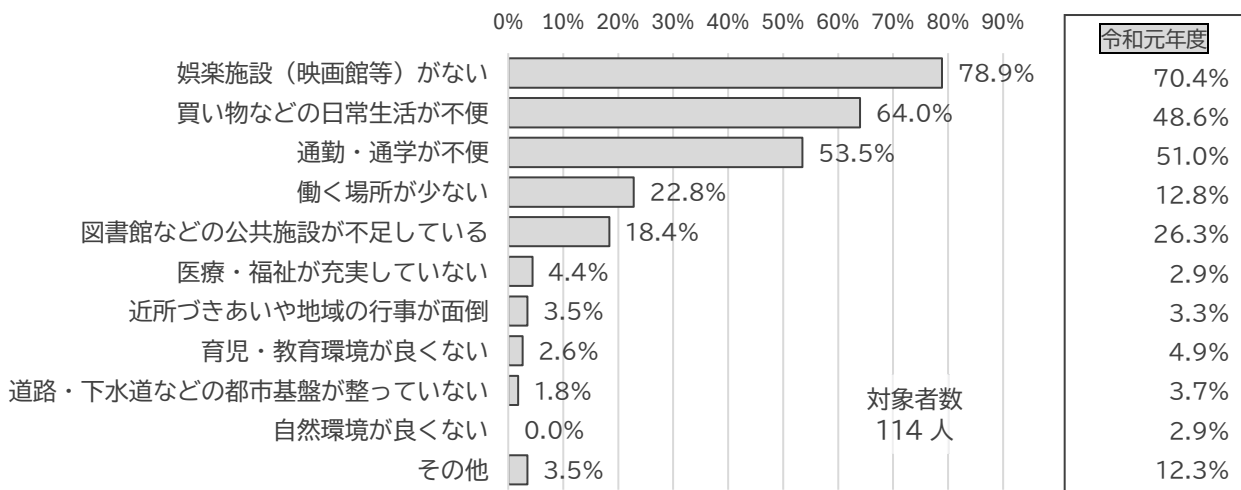
### ■調査結果の抜粋

#### Q 伊東市は住みよいまちですか（市内在住者のみ）



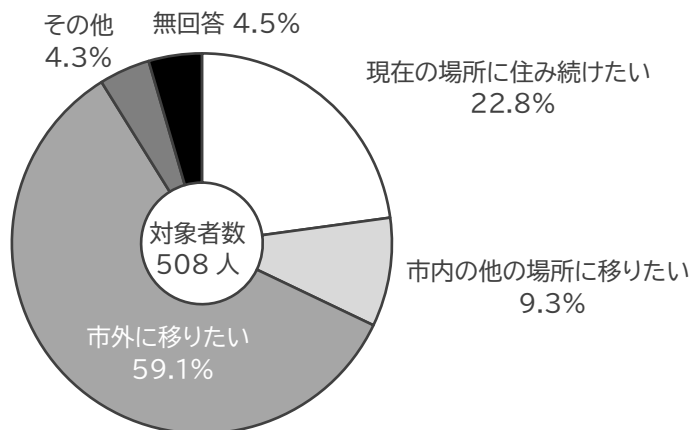
「伊東市の住みよさ」について、肯定的な意見が約7割と否定的な意見を上回っています。

Q 伊東市が住みにくいと考える主な理由（上記で「住みにくい」と回答した人のみ）



住みにくい理由としては、働く場所、医療・福祉に関する項目が高い割合となっています。

Q 今後の伊東市への居留意向（市内在住者のみ）



伊東市外に移りたいとの回答が約6割となり、市内への定住希望者は32%程となっています。

Q 伊東市が行っている取組の重要度（上位5つ）

順位	内容	重要度
1	バス・鉄道などの公共交通が充実しているまち	58.6%
2	親や子どもを育てやすく、子どもたちも住みやすいまち	43.2%
3	災害への対策がしっかりできているまち	36.9%
4	地域の医療が充実しているまち	30.7%
5	地元の商店や企業が活性化しているまち	26.7%

※重要度は、重要、やや重要と評価した人の割合

公共交通の充実化を求める割合が突出しています。

### ③ 未来ビジョン会議

若い世代による新たな視点からの意見やアイデア等を政策の形成や推進に反映させるため、産業・文化・体育などに関連する団体等における青年部等の代表や若手の移住者・子育て世代の女性・本市の将来を担う高校生などが、「第五次伊東市総合計画・第十二次基本計画策定に向けた理想の伊東市（将来像）を実現するための手法を考える」というテーマに沿って協議・検討を行いました。

#### ■開催概要

##### ○開催日時

令和6年（2024年）			
6月24日（月）	18：30～20：00	7月30日（火）	18：30～20：00
8月21日（水）	18：30～20：00	9月26日（木）	18：30～20：00
10月29日（火）	18：30～20：00	11月21日（木）	18：30～20：00
12月9日（月）	18：30～20：00	12月17日（水）	18：30～20：00
令和7年（2025年）			
1月8日（水）	18：30～20：00	1月21日（火）	18：30～20：00
2月13日（木）	18：30～20：00	2月14日（金）	18：30～20：00

○参加者 子育てや観光、産業、移住、市内企業関係等の団体や高校生から選出された10代から40代までの世代

#### ■主な意見の抜粋

- ・市外の方（外国人も含む）が、「安全で安心なまち」というイメージで伊東市を訪れることができると良い。
- ・「楽しさ」を織り交ぜながら、防災訓練等への義務、強制感をなくし、自助・共助の意識を高めていく。
- ・1人でも行きやすい居場所を充実させ、身寄りのない人が孤立せず、社会とつながることができるようにしてほしい。
- ・古民家を利用し、子育て支援を始め、認知症カフェなどの世代を超えた支援ができると良い。
- ・伊東駅前広場は観光客も含めた歩行者や公共交通利用者に優しいウォークアブルな現在の案に加え、喫煙所やゴミ箱を充実させてほしい。
- ・空家がサードプレイスとなり、若者も高齢者も居場所のある中心市街地になると良い。
- ・自主的に行動し、相互扶助の精神から温かい人の輪が土台となる伊東市をつくるため、自分のことは自分で行う「自助の精神を養う教育」を教育理念に取り入れてほしい。
- ・伊東ならではのフォトスポットを作り、SNSで情報発信していく。高校生も作画や情報発信に協力できるようにしてほしい。
- ・探究活動で高校生が市内の観光地を回り、伊東の魅力を伝える動画を作成する。その中から選出して、伊東市公式アカウントで紹介したい。



◀ 未来ビジョン会議の様子

## ④ 伊東市長期ビジョン

市制施行100周年を見据え長期的な視点で本市の現状と課題やあるべき姿を捉えた上で、長期ビジョンや重点プロジェクト等を描いた「伊東市長期ビジョン」を策定しました。

### ■策定のプロセス

○検討会の開催 40歳前後の市職員22人による検討会を発足し、「伊東市長期ビジョン」策定に向けた検討を行いました。

○開催日時

令和6年(2024年)			
4月15日(月)	16:00~16:30	5月28日(火)	16:00~17:10
6月25日(火)	16:00~17:00	7月29日(月)	16:00~17:00
9月6日(金)	15:00~17:00	9月9日(月)	15:00~17:00
10月11日(金)	14:00~17:00	10月29日(火)	18:30~20:00
11月20日(水)	16:00~17:00		
令和7年(2025年)			
1月29日(水)	16:00~17:00	3月6日(木)	16:00~17:10

### ■主な意見の抜粋

<p>○教育・子育て分野</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>伊東の資源を活かした自然環境教育など、本市の特性を活かした、他ではできない教育プログラムを開発、実践し、市内の子どもたちの感性を高め、郷土愛を育む。</li> <li>地域と市が協働し、子どもを望む人たち、授かった人たちから、乳幼児期・学童期・青年期までの子育てをまちぐるみで支援する環境や仕組みを整備する。</li> </ul>
<p>○医療福祉・くらし分野</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>幼少期からの健康づくりの取組を推進し、生涯を通じて健康でいられる生活習慣を身につけた市民を増やす。</li> <li>豊かな自然に囲まれた環境を活かした「思わず、歩きたくなる・出かけたくなる・体を動かしたくなる」仕掛けづくりや、市内店舗や飲食店による減塩商品の推奨などの取組を行い、暮らしているだけで、健康になれるまちづくりを進める。</li> <li>温泉資源を生かした健康づくりを推進する。</li> <li>幼少期からのコミュニティ教育や、多世代の交流、人がゆるやかにつながる仕組みづくりや地域コミュニティ活動の支援などによって、主体的、自発的に活動するポジティブ(前向き)な市民、地域社会に貢献する人に感謝する文化など、「いとうくらし」を支える生活基盤や土壌を育む。</li> </ul>
<p>○都市・インフラ分野</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>家族がそろって楽しめる身近な場所や機会の整備を進め、子育て世代のまちに対する満足度を高め、定住を促進する。</li> <li>施設の老朽化、若い世代のニーズとの乖離などの課題に対応し、新規施設の整備も含めて公共文化施設の再編成を進める。</li> <li>大きな自然災害が多発するなかで、デジタル技術の活用などによって緊急情報をより迅速・詳細に取得し、効果的に伝達するとともに、市民や観光客にとって分かりやすい避難計画などの災害対策を強化して、安全に、安心して暮らせるまちづくりを推進する。</li> </ul>
<p>○観光・産業分野</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市民が地元の観光を体験する機会を拡充し、伊東の観光魅力を発信、推奨する市民を増やす。</li> <li>伊東を訪れる観光客に伊東で暮らす魅力を効果的に伝え、伊東のファンづくりや移住を促進する。</li> <li>市民や首都圏住民の複業などの多様な働き方のニーズに対応した雇用の受入れ体制の整備によって、人材不足を緩和し、観光業をはじめとする地場産業の活性化につなげる。</li> <li>首都圏に比較的近く、豊かな自然を有する伊東市の強みを活かし、テレワークしやすい環境の整備などによって、デジタルノマドなどの国際ビジネス人材の受入れを図る。</li> </ul>